

## 使役文

### 1. 形

グループⅠの動詞	グループⅡの動詞
書きます → かかせます	食べます → 食べさせます
急ぎます → 急がせます	調べます → 調べさせます
飲みます → 飲ませます	居ます → 居させます
運びます → 運ばせます	
作ります → 作らせます	
手伝います → 手伝わせます	
持ちます → 持たせます	
直します → 直させます	
	グループⅢの動詞
	来ます → 来させます
	します → させます

### 2. 意味

日中辞書では、「させる」の訳として「使、叫、譲」の三つが示されている。

#### 自動詞

- ・ 子供に勉強させる (強制)
- ・ 子供を遊ばせる (許可)

#### 他動詞

- ・ 母親は子供に菓を飲ませる (強制)
- ・ 母親は子供にジュースを飲ませる (許可)
- ・ 電話を使わせてください (許可)

強制か許可かは文脈に依存する場合も多い。

- ・ 子供に教科書を読ませた
- ・ 子供にマンガを読ませた
- ・ 病人を休ませた
- ・ 社員を休ませた

参考) 無生物の場合には使役はあまり使わないが、全く使えないわけではない

- ・ 先生は、騒いだ子供を廊下に立たせた
- ・ ケーキの上にもうそくを立てた (「立たせた」は使わない)

- ・ 李さんは、テーブルの上の倒れた瓶子を立てた（「立たせた」も可能か）
- ・ 冷蔵庫で水を凍らせた（使役とは言えない）

### 3. 例文

- ・ 部長は、山口さんを上海へ出張させた
- ・ 課長は、佐藤さんを会議に出席させた
- ・ 会社の創立記念日には、社員を休ませましょう
- ・ 近藤さんは、息子を観光旅行に行かせた
  
- ・ 母親は、子供に牛乳を飲ませた
- ・ 郭さんは、娘に日本語を勉強させた
- ・ 私は、子供に好きな仕事をさせたい
- ・ 鈴木さんは、息子に欲しい物を買わせた
- ・ すみませんが、明日休ませていただけませんか
- ・ すみませんが、ここに荷物を置かせていただけませんか
- ・ すみませんが、コピーさせてください

### 4. 使役の受け身

- (1) 父親は子供に勉強させた → 子供は父親に勉強させられた  
 (2) 職員に客の住所を調べさせた → 職員は客の住所を調べさせられた  
 (3) 看護婦は患者に薬を飲ませた → 患者は看護婦に薬を飲ませられた  
 (4) 先生は生徒に机を運ばせた → 生徒は先生に机を運ばせられた

グループ I の動詞の使役受け身には、短い形があります。たとえば、(3)は「飲まされた」、(4)は「運ばされた」という方が普通です。

例：反省文を書かせた→書かされた、騒いだ子を廊下に立たせた→立たされた、  
 重い物を持たせた→持たされた、友達を1時間待たせた→待たされた

ただし、この形は辞書形が「す」で終わる動詞（返す、直す、出す、壊す、等）にはありません。

例：借りた本を返させた→返させられた（「返さされた」とはならない）